**個別避難計画の作成にあたって**

**■個別避難計画とは**

個別避難計画は、ご本人やご家族だけで安全な場所までの避難が難しい方（災害時要援護者（以下「要援護者」））や配慮の必要な方が、災害時にどのような避難行動をとればよいのかについて、また、避難する際にどのような支援が必要なのかを、あらかじめ自ら確認しておいていただくために、一人一人の状況に合わせて作成する行動計画書です。本人や避難支援者、市、地域支援組織でその情報を共有し、平常時から支援方法等を確認し合うことで、災害時により実効性のある避難行動や避難支援につなげます。

**▼どういう人が個別避難計画を作成するのでしょうか**

災害時要援護者名簿に登録されている方や災害時に配慮が必要な方

（災害時に配慮が必要な方、災害時に支援を希望する方、要援護者名簿の登録条件を満たしている方）

**■個別避難計画書の説明**

**⑴避難シート1「避難時のルールについて」**

どこへ、いつ、だれと避難するかについて記入します。

**①どこへ**

避難先は、避難所だけでなく、知人宅や自宅での在宅避難もあります。安全性や行きやすさ、通い慣れていること等を考慮し、避難場所の候補を決めましょう。

**②いつ**

吹田市から住民に対する避難情報として高齢者等避難が発令された時は、災害時要援護者の人は避難を開始しましょう。自身で災害の状況や市からの避難情報を入手できるか確認しておきましょう。

**③だれと**

一緒に避難をしてくれる近所の方や支援者がいる場合は、「支援してくれる人」の欄に記入しましょう。記入する場合は、支援者の方の了承を得ましょう。すぐに見つからない場合は、空欄でも大丈夫です。

**⑵避難シート2「避難経路と持ち物について」**

風水害や地震時の実際の経路を想定して経路を記載してください。また、避難先で必要になるものを記入してください。災害時にすぐ持ち出せるよう、玄関の近く等に準備して、一緒に避難する人と確認しておきましょう。

**⑶生活支援シート1「支援が必要な内容と具体的な支援方法について」**

移動方法や情報伝達方法、医療的ケア、また、避難生活で必要な物等について記入してください。

**⑷生活支援シート2「避難先での必要な支援と災害への備えについて」**

避難先で助けてほしいことや、不安に思っていることを具体的に記入してください。

**■作成のポイント**

空欄があっても大丈夫ですので、最終項目まで、記入していきましょう。

　現在決まっていることや、分かっていることを記入してください。不明な点や未記入の部分は、なにが不明なのか等を記入しておいて、分かり次第、加筆していきましょう。

＜問い合わせ先及び提出先＞

吹田市　福祉部　福祉総務室　災害時要援護者担当　06-6384-1363

〒５６４－８５５０　吹田市泉町１丁目３番４０号

**個別避難計画を作成して、**

**一緒に逃げてくれる人や支援してくれる人を探しましょう！**

要配慮者・要援護者の方

**災害時要援護者名簿に登録あり**

**災害時要援護者名簿に登録なし**

**＜避難先や支援内容等の書き方がわからない場合＞**

**【記入できていない項目や不安な項目】**

**（現在、記入できる範囲内でOKです。）**

**必ずいます！**

自宅で保管（提出不要）

コピーし、１部を市に提出

原本は、自宅で保管

**最後の設問まで、一通り考えて、記入できたら**

**下記の方たちに、一度相談し、一緒に考えてもらえるようお願いしてみてください！**

**地域のみなさんと一緒に考えてみませんか？**

**助けて　➡　助けるよと言ってくれる人が**

**一人で何とかしようとしていませんか？**

**・吹田市（福祉総務室）**

**・福祉事業所（介護・障がい者）の担当のケアマネや計画相談員さん等（福祉職の方）**

**・地域支援組織の方（自主防災組織や自治会の方など）**

**・ご家族や親せき、ご友人、ご近所さんなどの親しい方**